

2019  
年度

# 活動 報告書



## 2019年度を振り返って

はじめに、新型コロナウイルスに罹患された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

弊会では、愛知県独自の緊急事態宣言発令後、エコロジーセンターRe☆創庫あつたの資源回収及びリユース品

の受け取り以外、すべての活動を休止いたしました。これまで対面での活動に重きをおいてきたため、現場を支えてくださっている市民ボランティアの皆さまと、資源を持ち込む市民の皆さまとの接触の機会が多いことから、両者の感染拡大防止を第一に考えた、自主的な判断による活動休止です。

こんな時だからこそ家を片付け、資源やリユース品を出したいと願う市民の皆さまには大変なご不便をおかけして申し訳なく思いますが、何卒ご理解とご協力をいただけますと幸いです。

さて、弊会の2019年度を振り返ると、資源市況暴落後のコロナ禍により、雪だるま式にリサイクル活動の運営が厳しくなった1年でした。古紙リサイクルは、これまで先進諸国で回収した古紙の最大の受け皿となっていた中国が、輸入量を制限したことにより、各国内で消費しきれず余った分の古紙が行き場を失い、海外ではごみ化していると聞きます。

また、古着リサイクルは新型コロナウイルスの世界的な感染拡大による経済活動の停滞で、古着の出口でもある自動車産業の工場が閉鎖されたことで、やはり多くの古着が行き場を失っています。動脈産業と呼ばれる製造業は、生産を止めることで需給バランスを調整することができますが、リサイクル業界のような静脈産業は、在庫が増えたからといって回収量を調整することは難しく、今のような状況が長く続くとごみ化する危険性もはらんでいます。

このような状況下ではありますが、弊会ではリユース活動をより強く推進するため、Re☆創庫あつたを改装しリユース品を一括で仕分けする物流センターを2020年3月に立ち上げました。未曾有の困難な状況が続きますが、この機を好機と捉え、コロナ後の新たな世の中にも対応しうる体質改善に努めてまいりたいと考えています。

最後になりますが、今年度も多くの皆さまのご支援のもと活動を続けられました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

代表理事 永田 秀和



リユース品を一括で仕分ける物流センター

## 2019年度活動

中部リサイクルは、以下の6種の活動を2019年度に実施することができました。皆さまのご協力・ご支援に心より感謝を申し上げますとともに、その内容と成果の一部を「活動報告1～4」でご報告します。

### ① 地域循環型市民社会システムと場づくりに関する事業

非営利団体とのネットワークへの参画、環境配慮型商品の普及など

### ② ごみ減量に関する事業

リユース&リサイクルステーションの運営、Re☆創庫・Re☆ショップの運営、チャリティBOXの運営など

### ③ 環境に関する知識の普及及び啓発事業

環境教育活動、記念日植樹券プレゼント事業など

### ④ 障がい者の就労支援に関する事業

リユース&リサイクルステーション・Re☆創庫での障がい者の活動受入れ

### ⑤ 災害時の物資供給や救援に関する事業

災害被災地への募金活動

### ⑥ 開発途上国・地域における環境・社会問題解決に関する活動

国際協力機構（JICA）による開発途上国向け廃棄物管理研修の企画運営

## 活動報告-1 地域循環型市民社会システムと場づくりに関する事業

### 日本チャリティーショップ・ネットワークへの参画

中部リサイクルは、日本でチャリティーショップの認知度を高め、非営利活動への寄付やリユースの推進などを促すことを目指す「日本チャリティーショップ・ネットワーク（JCSN）」に加盟しています。JCSNでは2019年9月に、「第3回チャリティーショップ・フォーラム」を開催し、浜松市と高知市で「チャリティーショップ講演会&設立相談会」を実施しました。また、来年発行予定の「チャリティーショップ白書（仮称）」のためのアンケート設計にも取り組みました。



第3回チャリティーショップ・フォーラム

### 環境首都創造NGO全国ネットワークへの参画

「環境首都創造NGO全国ネットワーク」は、自治体と協働して持続可能な地域社会の創造に取り組むため、2011年1月に発足したNGOのネットワークです。「環境首都創造自治体全国フォーラム」の開催、セクターの壁を超えた地域公共人材の育成・流動化の仕組みづくり、国内自治体の環境ベストプラクティスデータベースの構築などに取り組んでいます。2019年度は、「環境首都創造フォーラム2019年度 in京都」を開催するとともに、環境自治体会議との合併と新組織の設立について議論を深めました。



環境首都創造フォーラム2019年度in京都

**リユース & リサイクルステーション**

家庭から排出される10品目のリサイクル資源と12品目のリユース品を、スーパーマーケットなどの駐車場で定期的に回収するシステムです。「リサイクルステーション」としては1991年から継続実施しています。市民・企業・行政・メディア・NPOがそれぞれの役割を担い、このシステムを支えています。2020年4月現在、名古屋市内に常設を含め32会場あります。

2019年度は新聞・雑誌の生産量の減少と市中の常設古紙回収拠点の増加により、リサイクル資源の回収量は1,046トン、前年度比13%減となりました。

財政面では、資源回収量の減少により資源売却益が減少し、さらに資源回収量に応じて名古屋市から支払われる事業協力金も減少しました。それだけでなく、中国の固形廃棄物の輸入制限や国内の物流経費上昇の影響も受け、古紙の売却単価は暴落し、ステーションで回収したびん・缶・金属類の運搬を外部委託から自社運搬に切り替えなければならなくなる等、2019年度のリユース&リサイクルステーションはこれまでに例を見ないほど厳しい経営状況となりました。

今後、中国は2020年末までに全面的に古紙輸入を禁止する見込みのため、この状況は当面改善する見込みはなく、「リユース&リサイクルステーション」を現在の形のまま維持することが難しい状態になっています。来年度は、リユース&リサイクルステーションの今後の方向性と存続方法について議論を深め、早急に改革に取り組む必要があります。



カレットびん回収終了の掲示

●2019年度の実績(前年度比)

	2017年度	2018年度	2019年度(前年度比)
会場数	37会場	37会場	32会場
総回収量	1,424トン	1,207トン	1,046トン(13%減)
延べ開催回数	1,163回	1,155回	1,047回(9%減)
延べ持ち込み件数	106,225件	98,501件	88,378件(10%減)
延べリユース受付件数	11,924件	11,983件	12,618件(5%増)
古紙リサイクル効果 <sup>※</sup>	21,500の木材節約	16,700の木材節約	14,120の木材節約

※「古紙リサイクル効果」は、リサイクルステーションで回収した古紙の量を木材に置き換えたものです。(古紙1トン≒木材20本)

### 担当者の声

びん・缶・金属類の運搬を自社運搬に切り替えたため、重くて運搬スタッフに身体的な負担がかかる「カレットびん」やかさ張る「ブリキの衣装ケース」の回収を中止することになりました。これまで「ワンストップリサイクル」をめざし利用者の利便性を追求してきましたが、今後は仕組みの効率性を追求していかないと存続できないようです。

(副代表理事/和喜田 恵介)



**ご協力、本当にありがとうございます！**

●以下の企業の皆さまから協賛金をいただきました。(五十音順)



●新聞折込チラシ・新聞・フリーペーパーで開催告知協力をしていただきました。

名古屋市の中日新聞販売店などで構成されている「名古屋リサイクル推進協議会」には折込チラシ「リユース&リサイクルステーションご利用ガイド」の作成と配布(偶数月/各回25万部)を、「中日新聞」「環境情報誌Risa」には紙面での告知協力をしていただきました。

●多くの皆さまに支えていただきました。

雨の日も風の日も、現場を運営していただいている市民リサイクラーの皆さま(登録者数100名)や会場提供事業者の皆さま、事業協力金や広報で協力していただいた名古屋市など、さまざまな方々にステーションを支えていただきました。



## エコロジーセンター Re☆創庫あつた

2010年オープン of Re☆創庫一号店です。2019年度の施設利用者は延べ23,329人、リユース点数95,084点、リユース売り上げ約1,541万円、資源回収量約346トンとなりました。(物流センターへの改装工事による休業のため、9カ月半の実績)

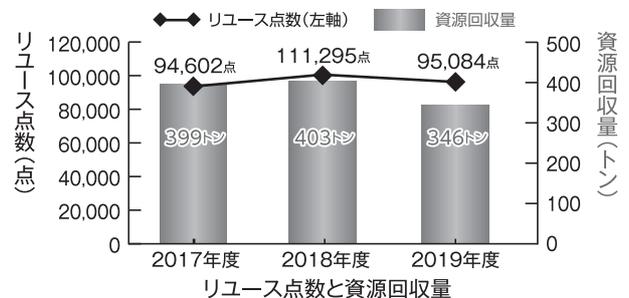
2019年度はマネージャー1名、サブマネージャー1名、Re☆創庫スタッフ1名、15名の市民リサイクラーで運営しました。(2020年3月末現在)

オープンして9年たち、毎月のスケジュールの配布、平台の展示の工夫、品揃えなど、お客様に喜んでいただき、スタッフも



Re☆創庫あつたに隣接する物流センター

やりがいを持てるような店舗作りを心掛けてきました。2020年6月には10周年を迎えます。この節目の年にあつたの施設は大きく改装を施し、店舗と物流センターとして稼働することになります。



※2019年度は工事休業のため9カ月半の実績

### 担当者の声

2019年は特に外国のお客様の減少と、新旧客の入れ替わりが顕著にみられました。リユース品の品目拡大により禁忌品の取り扱いに振り回された年でもありましたが、それ以上に拡大によるメリットがあったかと思えます。開店以来10年を迎え、今年は新しい店に生まれ変わります。お客様に喜んでいただける店作りを、皆で考えたいです。(Re☆創庫あつた マネージャー/関口利明)



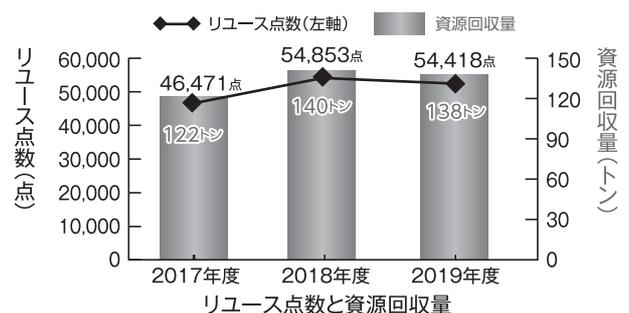
## エコロジーセンター Re☆創庫さくら

2014年に、障がい者支援に取り組む「(社福)親愛の里」との連携により名古屋市南区にオープンしました。2019年度の施設利用者は延べ13,846人、リユース点数54,418点、リユース売り上げ約1,147万円、資源回収量約138トンとなりました。2019年度はマネージャー1名、8名の市民リサイクラーで運営しました。(2020年3月末現在)

2019年度、Re☆創庫さくらは4月に初の25万円超えを記録した「5周年フェア」に始まり、8月に「残暑乗り切りセール」、12月の「歳末大売り出し」と、恒例になった3回のイベントを実施。毎月6がつく日の「くるくるデー」と合わせて多くの方に来店していただきました。お客様に感謝しつつ、スタッフ一同、日々の努力を積み重ねてきた成果に手ごたえを感じた一年でした。



「5周年フェア」の店内



### 担当者の声

毎日のお客様との会話、モノと人との出会いの場、私にとって、Re☆創庫さくらは、エネルギー注入に欠かせない場になっています。5周年を迎えたさくら。確実に私も5歳年を重ねました。これからも、さくらとともに元気に明るく!!健康第一!地域の人たちに愛されるショップであり続けたいと思います。(Re☆創庫さくら マネージャー/浅井久美)

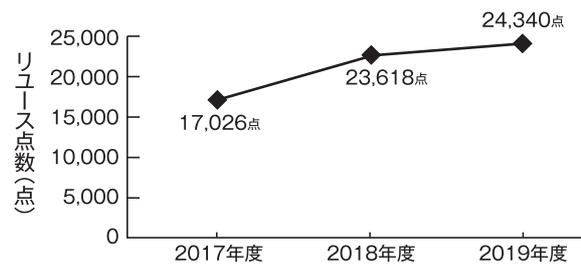


## リ Re☆ショップよしの

2014年にオープンした、資源回収は行わず、リユース品の販売と受付のみを行うショップ型の店舗です。2019年度の施設利用者は延べ8,434人、リユース点数23,340点、リユース売り上げ約464万円となりました。2019年度はマネージャーやスタッフは常駐せず、10名の市民リサイクラーで運営しました。(2020年3月末現在)

Re☆ショップよしでは、1月の初売りや冬のセール、8月の夏のセール、10月の周年感謝祭のイベントを行い、月ごとには、第2第4金曜日に「よしのDay」を行いました。

リユース品の持ち込みをさらに増やすために、春と秋のリユースキャンペーンも行い、新しい試みとして、隣の「コミュニティカフェ 夢茶や」の場をお借りして、リメイクカフェを3回行いました。



周年感謝祭のRe☆ショップよしの

### 担当者の声



「色々なモノが美しくディスプレイされていて、時間を忘れるほど楽しい。」「スタッフやお客様同士のおしゃべりが楽しくて、つい長居してしまったわ。」「また、散歩のついでに寄るね。」これは、よしのに寄せられたお客様の声です。そんなお客様の声に支えられて、新しいスタッフともども、力を合わせて頑張っています。

(Re☆ショップよしの 市民リサイクラー／小林もと子)

## Re☆ショップおおだか

2018年に名古屋市緑区にオープンしました。資源回収は行わず、リユースの寄付品の販売と受付のみを行うショップ型の施設で、「カフェ&レストランにんじん」の中にあるショップインショップです。

中部リサイクルがリユース品の準備を、レストラン側のスタッフが陳列と販売を担当しました。

2019年度のリユース点数7,003点、リユース売り上げ約195万円となりました。

週1回リユース品を納品、入れ替えをするという形が定着し、リピーターのお客様や、リユース品の持ち込みも増え、これからの広がりを楽しみにしていましたが、「カフェ&レストランにんじん」の閉店に伴い、2020年3月末をもって、Re☆ショップおおだかも閉店することになりました。他団体とのショップ運営の経験は、いろいろな意味で今後に活かしていけそうです。



「カフェ&レストランにんじん」



協働でショップを運営した「カフェ&レストランにんじん」の皆さんと

## 記念日植樹券プレゼント事業

2001年から継続している中部電力(株)との協働事業です。この事業の目的は、自分の手で木を植える体験や、NPOの植樹活動に植樹券を寄付することを通じて、環境問題への気づきや環境行動を広げることです。これまで18年間で、6万5千人を超える方々と13団体のNPOとともに、44万本以上の苗木を国内外に植樹してきました。

19年目の2019年度事業では、1,000名の皆さまに「植樹券(苗木を植えられる権利)」をプレゼント。「自分で植える、または大切な人に苗木をプレゼント」「福島・東北に桜と未来を植える」「2020年までに『夢マップ』実現を目指す」の3つのメニューから、植樹券の使い道を選んでいただきました。



南インドのプットシル村の植樹前(2001年)と植樹後(2008年)

また、来年20周年を迎えるにあたり、これまで連携したNPOと連絡を取り、植樹した苗木の生育具合等をヒアリングしました。

## 当選者の声

- 2才になる孫(男の子)にプレゼントです。しゃくなげの花のようにきれいな心の子に育ってほしいと願っています。
- 震災のあと一度東北に旅行に行きました。皆さんの笑顔に、こちらの方が救われた思いです。桜の咲く頃またぜひ行きたいです。
- 「廃村の森を復活させたい」そんな思いで根気のいる取り組みをされている皆様に頭が下がります。2020年夢マップが完成できますよう祈っています。

## JICA 研修「総合的な廃棄物管理」

2019年度のJICA研修は、1月17日から2月20日までの約1か月間、アフリカの6カ国(レソト、リベリア、ニジェール、南アフリカ共和国、スーダン、タンザニア)からの研修員6名を対象に実施しました。研修員はそれぞれの国や地域で廃棄物管理を担当している行政職員です。この研修の企画・運営は今回で5年目となります。

この研修では、日本の廃棄物管理の歴史や法体系、自治体や民間企業のごみ処理・リサイクル、そしてNPOによる環境活動についても学びました。

今回初めて、研修旅行に大阪の「西淀川大気汚染公害」に関するワークショップを組み込み、公害の悲惨さ、環境管理の重要性についても学んでいただきました。



## 研修員の声

今回の研修は廃棄物管理に関するすべての面が網羅されていて、日本の取り組みの一部は私の祖国でも実施できることが分かりました。また日本では、市民の意識や社会への献身性、遵法精神がごみ減少を成功させていることも理解できました。そして、限られた財源しかなくても、ごみ問題に取り組むことに遅すぎることではないことも学びました。(タンザニア・トゥンボさん)



## 担当者の声

会員の皆さま、いつも中部リサイクル運動市民の会を支援していただきありがとうございます！  
(事務局次長/庄司里美)



会員種類		人数	会員種類		団体数
個人	正会員	31名	団体	正会員	12団体
	賛助会員	90名		賛助会員	9団体
	学生	0名			
合計			142名・団体		

誰でも利用できる  
常設 リユース&リサイクル  
ステーション!

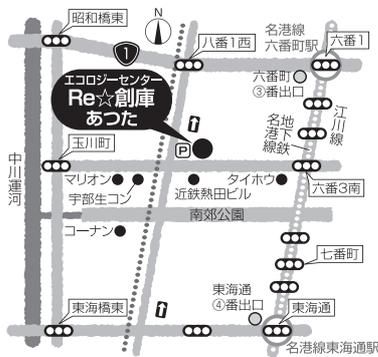
## エコロジーセンター りそうこ Re☆創庫

「エコロジーセンターRe☆創庫」では、常設の資源回収拠点と、寄付していただいたリユース品を販売する「Re☆ショップ」を運営しています。  
皆さまお気軽にお越しください!

### エコロジーセンター Re☆創庫あつた

〒456-0059  
名古屋市熱田区八番2-19-16  
TEL 052-659-1007  
FAX 052-364-7200

- 資源回収  
営業時間 午前10時～午後5時  
定休日 無休
- Re☆ショップ  
営業時間 午前10時30分～午後5時  
定休日 火曜日・水曜日



### エコロジーセンター Re☆創庫さくら

〒457-0039  
名古屋市南区西桜町31-1  
地域活動支援センタークオーレ内  
TEL 080-2651-9843  
FAX 052-883-9259

- 資源回収 ●Re☆ショップ  
営業時間 午前10時～午後5時  
定休日 日曜日・月曜日・祝日



### 寄付品の受付&販売

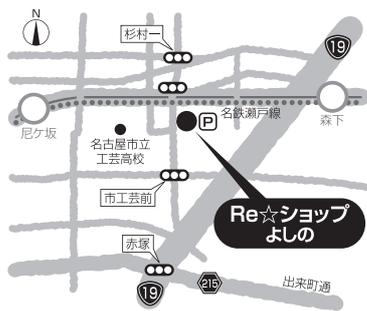
あなたのいらなくなったもので  
気軽にチャリティー!

## リユース&チャリティー Re☆ショップ

「Re☆ショップ」は、リユース品の受付・販売専門の、  
オシャレで明るいお店です。  
ぜひ一度お越しください!

### Re☆ショップよしの

〒461-0027  
名古屋市東区芳野3-13-2  
後藤ビル1F  
TEL・FAX 052-508-9243  
営業時間 午前10時～午後5時  
定休日 日曜日・月曜日・祝日



ご愛顧ありがとうございました

### Re☆ショップ おおだか

〒459-8016  
名古屋市緑区南大高2-204  
南生協病院敷地内ロータリー  
カフェ&レストランにんじん内  
TEL 052-629-7271 (カフェ&レストランにんじん)



2020年3月末で、カフェの閉店に伴いショップも終了しました。  
ご利用ありがとうございました。

## 会員になって活動を支援してください!

会員特典

- 1.会報を定期的にお届けします。
- 2.主催イベントに割引価格で参加できます。(正会員のみ)

正会員 (議決権あり)	個人	ー□ 10,000円
	団体	ー□ 20,000円
賛助会員 (議決権なし)	個人	ー□ 3,000円
	学生	ー□ 2,000円
	団体	ー□ 10,000円

入会ご希望の方はこちらまで

## 認定NPO法人 中部リサイクル運動市民の会

お問い合わせ/〒461-0002 名古屋市東区代官町39-18 日本陶磁器センタービル5F TEL.052-982-9079 FAX.052-982-9089

メール [staff@es-net.jp](mailto:staff@es-net.jp) ホームページ <http://www.es-net.jp>

### 事務局へのアクセス

